

## 2025日本万国博覧会の大阪誘致に対する決議

国際博覧会は、人類が抱える地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一同に集めることで、解決方策を提言する場であり、新しい時代を生きる知恵を広く発信することにより、世界と日本の平和的発展に大きく寄与することが期待されている。

現在、政府においては閣議了解が行われ、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした国際博覧会の開催についての書簡をB I E（博覧会国際事務局）へ提出し、立候補が行われたところである。

国際博覧会の大阪での開催は、古くから、人々の英知により新たな技術を生み出し、文化・産業の両面から国内外をリードしてきた大阪から、世界中の人々の健康に係るさまざまな課題を克服し、人類の健康・長寿への挑戦はもとより、人類の未来に向けて、よりよい生活を送ることができる新しいモデルを提案することや、それを広く世界に発信するという点において、大変、大きな意義があると考えられる。

また、新たな観光や産業のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて、大阪の存在感を示す絶好の機会にもなり、広義において、市民の健康増進や地域の振興にも寄与するなど、都市の活性化、市民生活の向上も考えられる。この国際博覧会の理念とその成果が次世代への明るいメッセージとなり、大阪・関西ひいては日本のさらなる発展に繋げていくためには、言うまでもなく、国、経済界、地元自治体の役割を明確にし、効果的に準備を進めていくことが重要である。

よって、本市議会としては、大阪での国際博覧会開催の意義に賛同するものであり、国際博覧会の誘致・実現に向け、大阪府、大阪市や経済界とともに、積極的に取り組むこととする。

以上、決議する。

平成29年6月21日

大 阪 府 茨 木 市 議 会